

●主な維持管理作業



芝刈り



エアレーション



パッチカルカット



粒状肥料散布



目砂散布



殺虫剤散布

●その他の作業



ライン引き



ラグビーボール設置



スプリンクラー点検



縁切り

キ 芝グラウンド損傷への具体的な対応方法

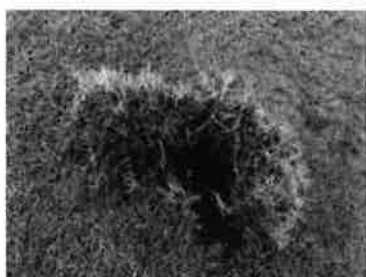
(ア) 陸上競技(ハンマー、やり投げなど)

●損傷の特徴

ハンマーによる損傷が特にひどく、特徴として芝生と砂をえぐるような球状型の傷跡が残ります。

●補修方法

地面にめり込んだ芝生を起こし、大きく空いた穴に砂を入れて補修します。



ハンマー投げによる損傷



芝生を起こし砂を入れる



表面を叩き補修完了

(イ) サッカー・ラグビー

●損傷の特徴

主にラグビーのスクラムやサッカーのキックなどのスパイクシューズによって損傷するため、芝生の擦り切れや表面上の一部が剥がれる特徴があります。

●補修方法

擦り切れた芝生は専用の掃除機（スイーパー）を使用して吸い取り、剥がれた部分については砂を入れて補修をおこないます。



スパイクによって剥がれた芝生



砂を入れて補修

ク その他

(ア) 芝生化サポートネットワークへの加入

本会は、「鳥取方式」の芝生化全国サポートネットワークに加入し、県が推し進める芝生化の後押しができるよう協力していきます。

「鳥取方式」の芝生化全国サポートネットワークとは

「鳥取方式[®]」の芝生化に取り組む全国の「芝生人」を支援するため、鳥取県やNPO法人グリーンスポーツ鳥取、社団法人鳥取青年会議所等と連携して「鳥取方式」の芝生化全国サポートネットワークを設立し、会員の方の芝生化に関する疑問・質問・相談に、専門家が回答するほか、芝生人同志のネットワークによる交流を図る機関です。

(イ) 芝生専門業者との連携

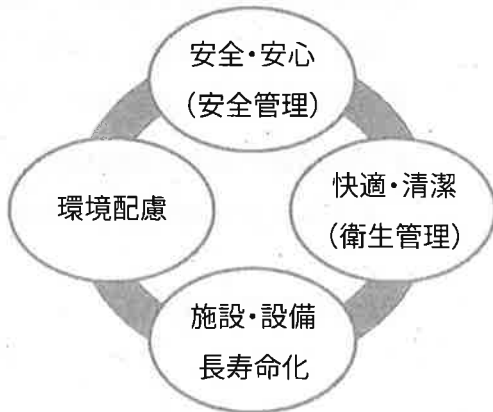
布勢公園の芝グラウンドの改修にあたり、検討会から設計に携わり、使用当初も維持管理の方法など指導をいただき、J1などの主要な競技場を管理している芝生専門業者と、継続して連携をおこない新しい情報や技術を取り入れていくことで、日本におけるトップ水準の芝グラウンド状態を保てる維持管理業務に取り組みます。

(3) 施設設備の維持管理業務の考え方と業務の実施内容

ア 業務実施の考え方

本会は、長年自らの目で日常・定期点検をおこない、積極的に修繕を実施することで、この公園を大切に維持管理してきました。

この経験をいかして、事故などの発生を未然に防ぎ、利用者が安全で快適に利用できるよう、次の4つの視点をもって、施設管理に取り組みます。

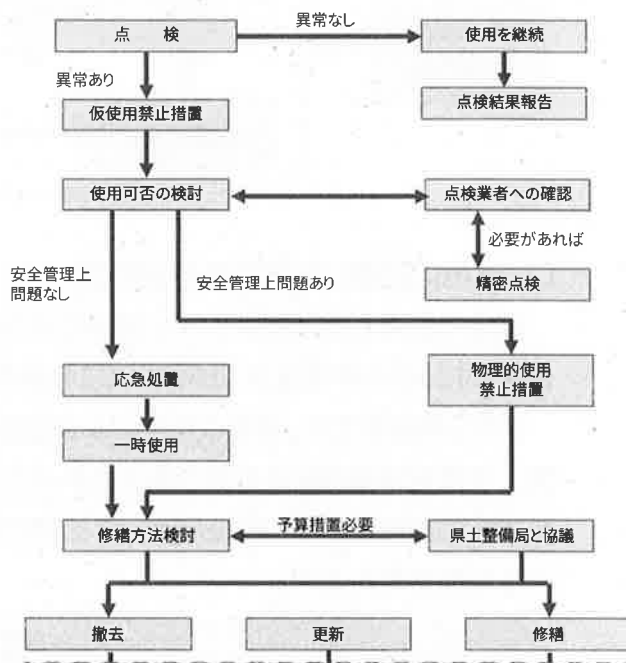


(ア) 安全・安心な施設管理

利用者の安全を確保するため、職員による日常点検、事故などの発生を未然に防ぎます。

業務マニュアルにより、点検項目やルートなどを定め、異常箇所や不審物の早期発見につとめます。

異常を発見した場合は、応急処置や使用禁止措置を速やかにおこない、利用者の安全を確保したうえで、修繕計画を策定します。

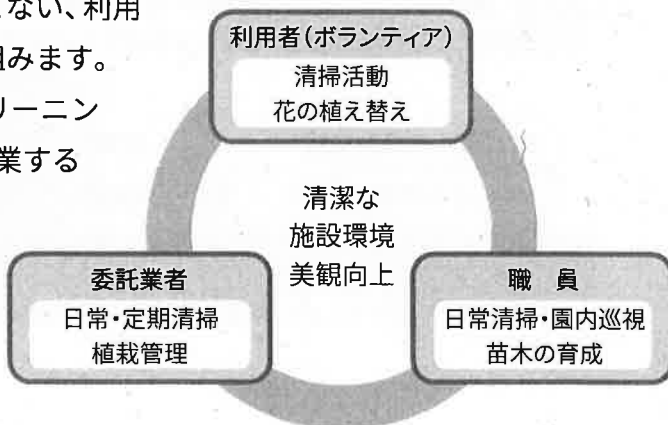


(イ) 美しくて清潔な施設

職員や専門業者による日常清掃をおこない、利用者が快適に過ごせる環境づくりに取り組みます。

床のワックス塗布や高所のガラスクリーニングなどは専門業者に委託し、休館日に作業することで利用に支障がないよう計画します。

園内の植栽管理は専門業者だけでなく職員やボランティアが一体となり、美観向上につとめ、利用者癒しの空間を提供します。



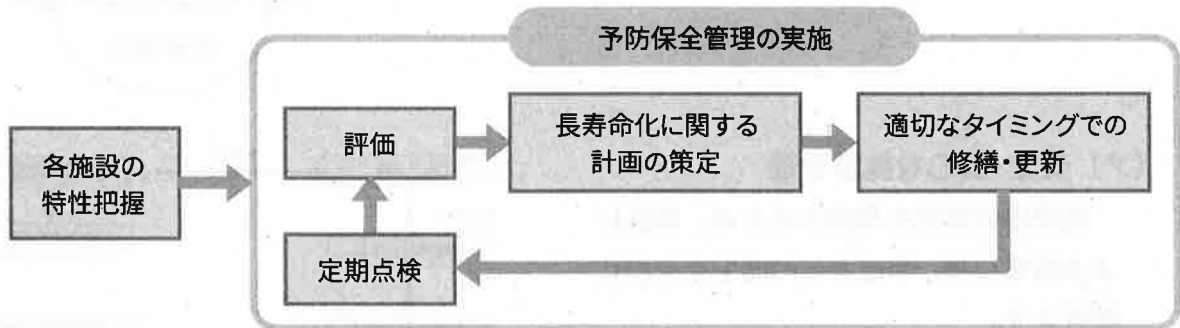
(ウ) 施設設備の長寿命化

職員による日常点検はもとより、より専門性の高い設備については、資格を有する専門業者による定期点検を実施し、機能などのチェックをおこないます。

築30年以上経過していることから、遊具など事故に繋がりがやすい施設に関しては、仕様書を上回る点検をおこない、予防保全につとめます。

- 点検結果と過去の修繕履歴をもとに、修繕計画を作成し、適切なタイミングで修繕・更新することで、施設設備の長寿命化およびトータルコスト縮減に取り組みます。

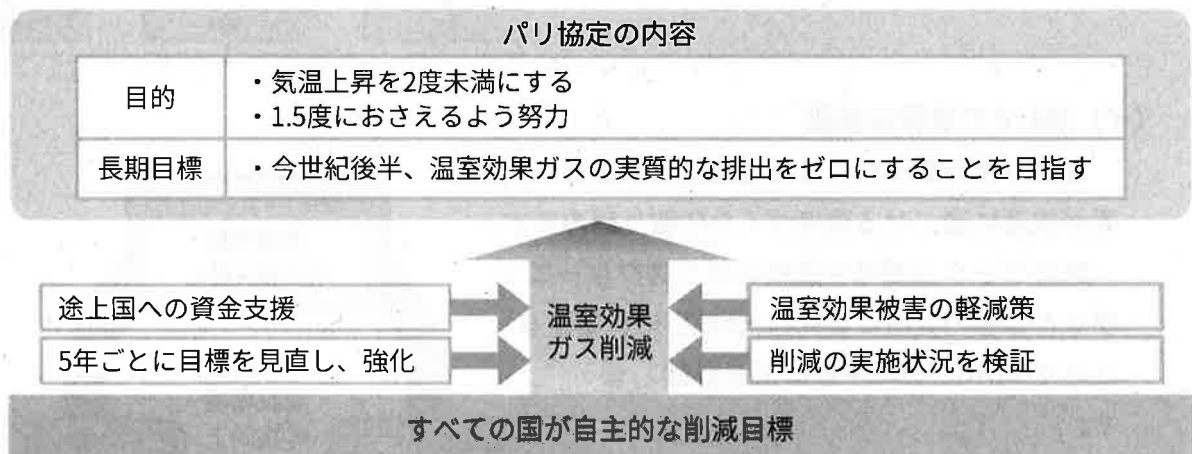
施設の長寿命化計画フロー



(エ) 環境に配慮した施設の管理運営

環境に配慮した活動は、パリ協定により世界的に取り組まれています。日本は、2030年度までに2013年度比で26%のCO2削減を目標としています。

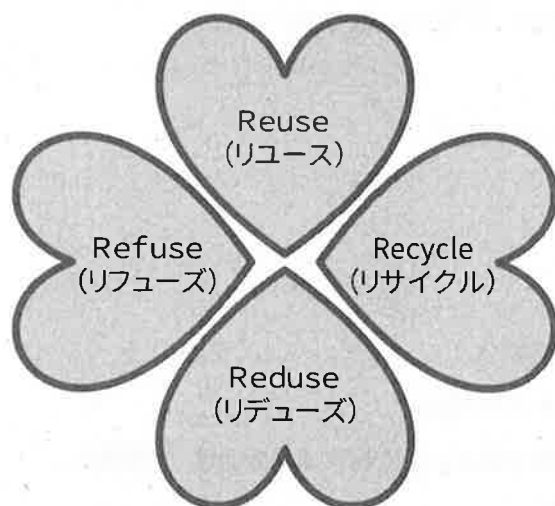
また、鳥取県では、環境の保全および創造に関する取り組みを推進することを目的とする、第2次鳥取県環境基本計画が策定されました。(平成24年3月策定) この計画に基づき、県の中核的施設として、職員だけでなく利用者にもご協力いただき、県民が一体となって次のように取り組みます。



※日本は2030年度までに2013年度比で26%のCO2削減を目標

a 4R 社会の実現

鳥取県が重点的に取り組む「4つのR」が定着した循環型社会の形成を目指します。廃棄物のリフューズ（断る）、リデュース（減量）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）を通じて、資源としてできる限り利用するシステム構築を推進し、廃棄物を出さない持続可能な社会を実現します。



ごみを減らす4R運動

Refuse(リフューズ)

不要なものは断り、ごみを出さない

Reuse(リユース)

繰り返し使う、修理して長く使う

Recycle(リサイクル)

分別して、資源として利用する

Reduce(リデュース)

工夫してごみを減らす

●主な取り組み内容

- ゴミ箱の削減および利用者にごみの持ち帰りの啓発
- 職員のマイ箸の持参
- 事務処理時の印刷ミス削減の徹底および裏紙として再使用
- イベントフリーマーケットの開催
- 職員による修繕の実施（繰り返し使用）
- 園内外で発生するペットボトルのキャップ、缶のプルタブなど有効資源の再利用
- 園内で発生する枯れ葉、剪定屑、芝屑を堆肥として再利用（県民に無料配布）



テニスボールの再利用



ペットボトルキャップの分別



堆肥の無料配布

b 地球温暖化対策

平成 28 年 5 月に「地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案」が成立しました。環境省では、26%の CO2 削減を達成するには、民生部門（家庭・業務）で 40%の大幅削減が必要としています。このため、低酸素な「製品」「サービス」「ライフスタイル」の賢い選択（COOL CHOICE）を旗印とする国民運動の強化に取り組んでいます。

本会は、この計画に賛同し、CO2 削減に積極的に取り組みます。

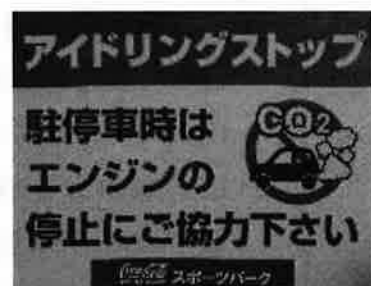
- 各施設の蛍光灯および照明をLEDに更新
- 自動手洗い器の導入
- 人感センサー式蛍光灯の導入
- 利用者に節電・節水の啓発
- エコマーク、グリーンマーク製品の購入
- 園内駐車場でのアイドリングストップの強化
- 来園者への公共交通機関の利用促進および自転車通勤の促進 新規
- クールビズ、ウォームビズの実施
- 冷暖房の設定温度の徹底（冷房28℃、暖房18℃）
- 大気汚染防止法に基づく、ばい煙測定の実施



陸上ロビーの人感センサー式蛍光灯
（平成 29 年度導入）



グリーン購入法対応商品



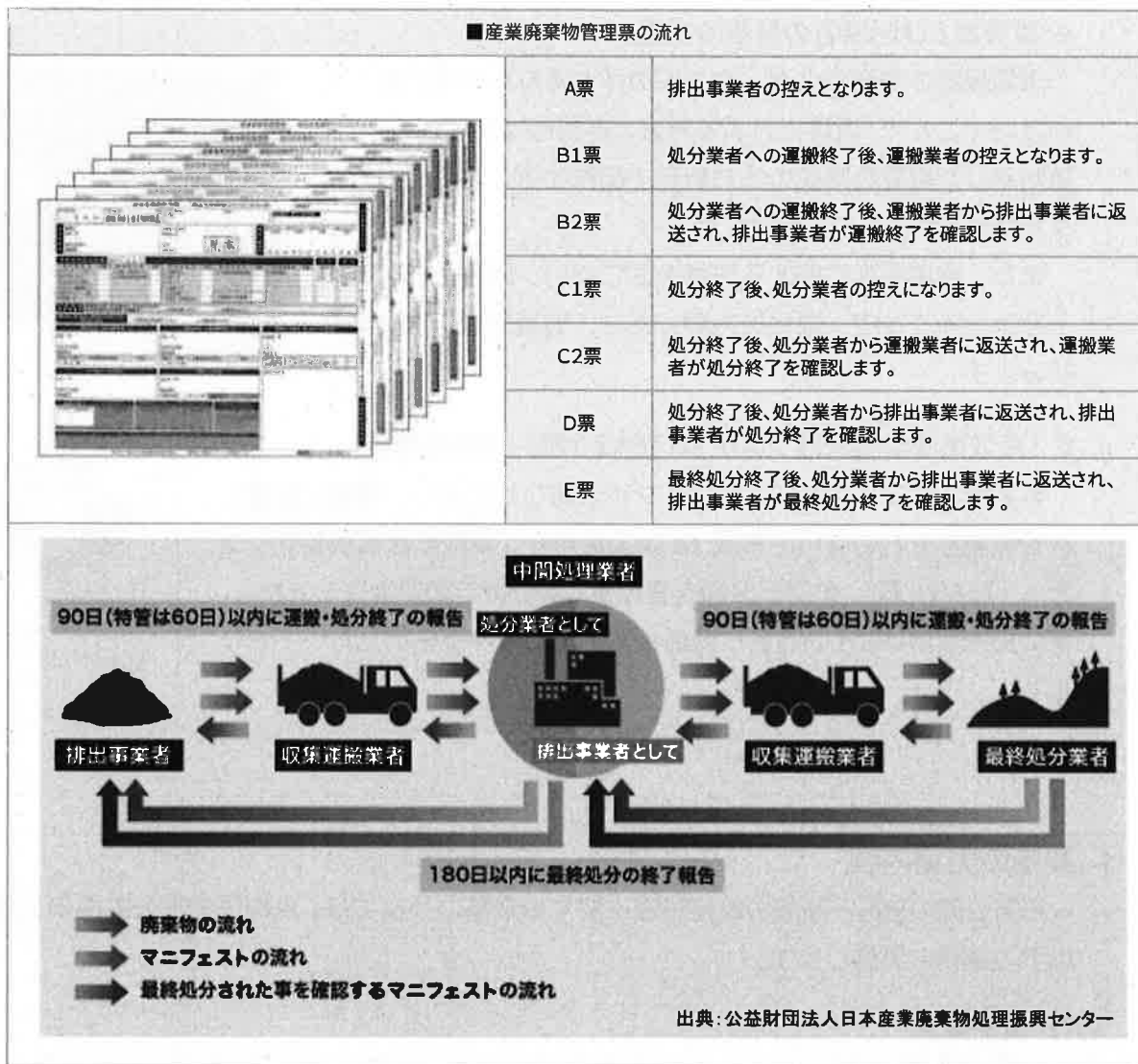
アイドリングストップの啓発看板

c 廃棄物の適正処理

園内で発生するゴミは、毎日職員が回収・分別をおこないます。廃棄物の処理については、廃棄物処理法に基づき、処理業者と契約を結び、廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、適正な処理につとめます。



園内で発生したゴミの分別



d 美しい景観の保全

30年以上の歴史がある布勢公園の美しい景観は、地域への親しみや愛着を育む資源として重要な役割を果たします。

職員、委託業者、地域の方々が一体となり、この美しい景観の保全に取り組みます。



職員とボランティアによる花の植替え



職員と委託業者による、一斉清掃



美しい景観(千本桜)

e 職員および利用者の意識の高揚

環境保護の啓発ポスターやゴミの持ち帰りへの協力をしていただくことで、環境に対する意識の高揚をはかるとともに、再利用した堆肥を県民の方に無料で配布することで、リサイクル活動を PR しています。

また、環境保護に関する研修をおこない、職員の知識の向上をはかることで、県民の先頭にたち、環境配慮活動に取り組みます。



環境保護に関する研修

f 「鳥取県版環境管理システム(TEAS II種)」の認証登録

省資源、省エネルギー、リサイクル活動などにより、環境に配慮した管理運営をおこない、平成18年3月から「鳥取県版環境管理システム(TEAS II種)」の認証登録を受けました。毎年定期審査を受検し、特に指摘事項はなく、適正に実践しているとの評価をいただいております。



イ 業務の実施内容

布勢公園の施設・設備の維持管理に関する業務については、鳥取県都市公園条例に基づき以下の業務を実施します。

(ア) 清掃業務

清掃業務については、利用者に快適に過ごしていただくため、職員と専門業者により日常・定期清掃をおこない、園内、施設設備、備品などを常に清潔な状態に保ちます。

大会などで多くの利用者が来園された場合には、状況に応じて特別に清掃を実施します。



大規模イベント後の園内清掃

○主な日常清掃

清掃場所	作業内容
園内	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち葉などの清掃 ○ゴミ拾い、分別、収集、処分 ○屑入れ、灰皿の清掃
各施設内	<ul style="list-style-type: none"> ○玄関回り、窓口の清掃および窓ガラス拭き ○階段、スロープ、ロビー、研修室などの床面清掃 ○玄関マット類の取り替え ○観客席の清掃
各施設トイレ (園内トイレ含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○洗面台などの水回り清掃およびガラス拭き ○衛生陶器（便器）などの洗浄 ○石鹼液、トイレットペーパーの補充 ○汚物入れの処理
更衣室・シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ○床面清掃 ○洗面台、シャワー室の水回り清掃およびガラス拭き ○ロッカー拭き掃除 ○マット類の取り替え
トレーニングルーム	<ul style="list-style-type: none"> ○トレーニング機器の清掃 ○床面清掃 ○窓ガラス拭き ○タオルの取り替え
競技場（グラウンド）	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技場、補助競技場、雨天練習場トラックの清掃 ○メイン、サブアリーナ床面清掃 ○屋外施設のグラウンド内清掃



園内落ち葉清掃



更衣室ロッカーの清掃



陸上トラックの清掃



テニスコートスタンド清掃



園内ゴミ拾い



スリッパ拭き

○定期清掃計画

作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
床面洗浄樹脂ワックス塗布		●		●	●	●	●		●	●		●
磁気タイル床面洗浄 水切り仕上げ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コルクタイル床面洗浄 樹脂ワックス塗布				●						●		
フローリング床清掃			●				●				●	
便所、洗面、シャワー室 洗浄		●	●	●	●	●		●		●		●
ガラスクリーニング		●		●	●	●		●	●	●		●
ステンレスクリーニング					●						●	
カーペットクリーニング		●		●		●		●		●		●
デッキ屋根トップライト クリーニング						●						
デッキ底鋼板パネル クリーニング						●						
観客席掃き掃除	●	●	●	●		●	●	●		●		●
貯水槽の清掃						●						●
職員・各委託業者による 園内一斉清掃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
各施設器具庫内 清掃および整理整頓	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※ 各施設により、実施月および実施回数が異なります。



高所ガラスクリーニング



床面ワックス清掃



毎月休館日に実施する器具庫清掃

(イ) 設備等保守点検業務

各設備の保守点検については、設備の機能・安全性を確保するため、法令に基づく点検および専門業者による定期点検を実施します。また、衛生設備については、簡易専用水道検査などをおこない、適正な水準確保につとめます。



消防用設備保守点検

保守点検項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ばい煙測定業務				● (法)							● (法)	
消防用設備保守点検				● (法)						● (法)		
エレベーター保守点検	● (法)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
清掃用チェアゴンドラ、舞台吊物装置保守点検			● (法)			● (法)			● (法)			● (法)
空調設備保守点検 (地下タンク含む)			●		●		● (法)				●	
電気設備法定点検										● (法)		
浄化槽保守点検	●	●	● (法)	●	●	● (法)	●	●	● (法)	●	●	● (法)
自動扉保守点検			●			●			●			●
構内電話設備保守点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大型映像装置及び野球場スコアボード保守点検				●								●
テニスコートメンテナンス業務				●								●
※遊具保守点検				●					●			
移動観覧席保守点検						●						
照明制御システム保守点検						●						
音響設備保守点検				●							●	
陸上競技用機器保守点検			●						●			
自動制御設備保守点検			●									
クライミングウォール保守点検									●			
自走搭乗式路面清掃機保守点検												●
※バスケットゴール保守点検		●	新規									
※散水用スプリンクラー保守点検		●	新規									

(法)は、法定点検 ※は仕様書を上回る項目

(ウ) 消防・警備業務

a 消防業務について

消防設備業務については、消防法に基づき、専門業者による定期点検および資格を有する職員による自主点検をおこないます。



県民体育館 地下タンクの漏洩点検

消防業務項目	内容	実施頻度
消防用設備保守点検	専門業者による消防用設備の定期点検	2回/年
消防機関の立ち入り検査	消防署による消防設備および地下タンクの立ち入り検査	1回/年
消防、避難施設自主点検	防火管理者による消防設備の日常点検	1回/日
加圧送水装置自主点検	防火管理者による消火栓ポンプの日常点検	1回/週
自家用発電装置自主点検	電気主任による自家用発電機の日常点検	1回/週
地下タンク漏洩検査	専門業者による地下タンクの法定点検	1回/年
地下タンク在庫及び漏洩検知管自主点検	危険物取扱者による地下タンクの日常点検	1回/日
消防訓練	消防署立ち合いのもと実施する自衛消防訓練	1回/年

- 平成30年度に、危険物の安全管理ならびに災害防止を積極的に推進し、保安体制の確立に寄与したとして、鳥取県危険物保安協会より表彰を受けました。



b 警備業務について

警備業務については、利用者の安全を最優先に考え、夜間警備、園内監視カメラの設置、職員による園内巡視を強化するなど、鳥取県警と連携しながら防犯対策に取り組めます。



県警立ち合いのもと実施する防犯訓練

警備業務項目	内 容	実施頻度
施設警備業務	専門業者による開園時間外の機械警備	毎日
※夜間警備業務	専門業者による開園時間外の園内巡回警備	2日/週
園内巡視	職員による園内および各施設内の巡視	2回/日
防犯訓練	県警立ち合いのもと実施する防犯訓練・対策	1回/年
園内監視カメラ設置	園内21台の監視カメラ設置	常時

※は仕様書を上回る項目

(エ) 日常点検業務

日常点検については、利用者の安全を確保するため、職員による日常点検をおこない、事故などの発生の未然防止につとめます。点検チェックシートに基づき、点検項目やルートなどを定め、異常箇所や不審物の早期発見に取り組みます。

また、地震や台風などの災害発生時、類似施設・設備での事故発生時は、緊急点検を迅速におこない、速やかに県に報告します。



AED(自動体外除細動器)の日常点検

点検項目	内 容	実施頻度
園内巡視	園内・施設・トイレなどの破損および不審物、落書きなどの確認	2回/日
※園内巡視(休園日)	年末年始(休園日)の園内巡視	6日/年
貸出用具の点検	貸出および返却時の破損、紛失などの確認	都度
遊具類の点検	遊具の目視、触診、聴診、打診	1回/週
※AEDの点検	電源、附属品、消耗品の期限確認	1回/日
LPガス設備点検	ブレーカーおよびボンベ周辺の確認	1回/日
地下タンク在庫及び漏洩検知管点検	地下タンクの漏洩点検および重油の在庫確認	1回/日
ボイラー日常点検	吸収式冷温水発生機および給湯ボイラーの水・油漏れなどの確認	1回/日
トレーニング機器点検	器具の清掃、増し締め、調整、注油など	1回/日
水道使用量点検	水道使用量の記録	1回/日
水道設備給水栓点検	水漏れ、破損などの確認	1回/日
貯水槽自主点検	園内の受水槽、高架水槽の点検	6回/年
電気設備自主点検	各分電盤の電圧、電流、電力量などの確認	1回/日
地震や台風など災害時の緊急点検	利用者の安全確保、被害状況の確認	随時
類似施設の事故発生時の緊急点検	類似施設、設備の点検	随時

※は仕様書を上回る点検項目

(オ) 遊具点検保守業務

遊具点検保守業務については、比較的事故が起こる可能性の高い施設であることを十分認識して、管理運営に取り組みます。

a 安全点検について

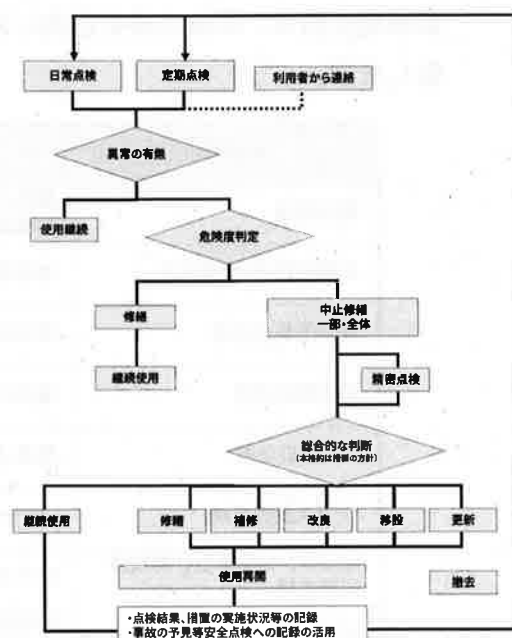
日本公園施設業協会が示す、「遊具の安全に関する規準」に基づき、適切な点検をおこなっていきます。

○点検方法

項目	点検内容	頻度
日常点検	○遊具点検講習会を終了した職員により点検をおこなう ○目視・触診・聴診などを用いて劣化の程度を確認する	1回/週
定期点検	○専門業者による点検	2回/年
精密点検	○点検で不具合を発見した場合や天災の直後などに実施	随時

b 危険箇所への対応

危険箇所を発見した場合は、国土交通省・遊具指針（H26第2版）に基づき、劣化状況の程度によって、遊具の使用中止、修繕などの応急措置を講ずるとともに、改良・移設・更新・撤去などの大掛かりな処置が必要な場合は、県と協議し適切な方針を迅速に定めて実施できるよう取り組みます。



(カ) 体育施設管理業務

a 体育施設管理士による施設管理

布勢公園は、大規模な大会が開催できる県内唯一の体育施設のため、常に安全で適正な状態に管理されていなければなりません。そのため、体育施設管理士の資格を有する職員による施設・器具類の点検整備をおこない、良好な状態を維持できるよう取り組みます。

特に陸上競技場、野球場などの専門性の高い施設に関しては、各競技に精通している職員を配置し、利用者が安心して競技に打ち込める環境づくりに取り組みます。



陸上機器の点検



野球場グラウンド整備



アリーナ床の点検

b 備品管理業務

備品管理業務については、利用者が用具などを使用する際に、最適な状態で貸出できるよう、定期的に点検をおこない適切に管理できるよう取り組みます。

約 1600 個もある備品を適正に管理するため、年に 1 回以上の棚卸しをおこない、備品台帳と照合のうえ、個数や状態を確認します。

故障などの不具合が発生した場合は、早急に修繕をおこなうとともに、備品購入計画を作成し、県に更新および新設を要望します。

物品点検簿(平成30年度)

品目	品名	数量	単位	備品台帳	実数	差異	備考
1	コインパーカー人員	1	名	1	1	0	
2	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
3	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
4	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
5	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
6	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
7	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
8	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
9	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
10	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
11	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
12	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
13	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
14	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
15	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
16	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
17	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
18	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
19	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
20	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
21	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
22	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
23	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
24	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
25	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
26	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
27	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
28	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
29	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	
30	コンクリートポンプ車	1	台	1	1	0	

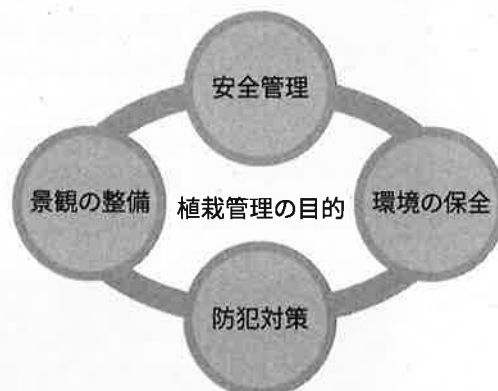
布勢総合運動公園 備品台帳 (備品総数 1633件)

(キ) 植栽管理業務

a 植栽管理の目的

植栽年間管理計画(別紙7)および中長期管理計画(別紙8)に基づき、樹木の健全な育成をはかり、美しい景観を保ち、樹木を起因とした事故などを未然に防止し、利用者の安全・安心を確保することを目的として管理します。

○主な維持管理作業



樹木剪定



生垣剪定



除草(草刈り機)



除草(人力)



芝刈り



病害防除



落葉清掃



チップ化作業

b 作業時における安全対策

作業時における安全対策については、利用者の安全を確保するため、以下の防護策を講じ作業をおこなうよう取り組みます。

○主な防護策

項目	取組内容
看板の設置	草刈り機などの危険が伴う作業は、看板を設置し、利用者への注意喚起をおこない、利用者の安全を確保します。
立入禁止	薬剤や肥料などを蒔く場合は、立ち入り禁止の措置を取り、利用者が近づけないようにします。
事前告知	薬剤散布等の作業をする場合は、事前に作業日程をホームページに掲載し、利用者へお知らせします。



看板の設置

c 事故・犯罪を未然防止するための植栽管理

事故・犯罪への未然防止については、利用者が安全で安心して公園を利用してもらえるよう、以下の内容で植栽管理に取り組みます。

項目	項目
点検の実施	日常点検(1日2回)および定期点検(月1回)をおこないます。点検表に基づき、ぶら下がり枝や枯れ木、害虫のチェックをおこない、早期発見につとめ、事故や被害の未然防止に取り組みます。
見通しの確保	園内の見通しを良くすることは、事故や犯罪の防止に繋がります。そのため、道路沿いなどの植栽を低く刈り込み、犯罪などの未然防止に取り組みます。
明るさの確保	電灯周りの枝葉の剪定をおこない、夜間照明の明るさを確保することにより、犯罪の未然防止に取り組みます。



事故の原因になる、ぶら下がり枝



人間に被害を与える害虫

ウ サイクル堆肥

園内の維持管理で発生した芝刈屑や枝葉を、アクセルグリーン工法を利用して堆肥化します。その堆肥を使用して、園内の樹木や花壇などに活用したり、一般の方に無料で配布したりして再利用につとめます。

○堆肥ができるまでの工程



① 剪定枝などを集め、機材を使い5cm以下の細かいチップ状にします。



② 発酵促進剤を均等に混合します。



③ 水分量が50～70%になるように加水します。



④ 発酵を均一に促進させるために、空気を含ませるよう切返しをおこないます。



⑤ 切返しを約3～4カ月繰返すと堆肥が完成します。

アクセルグリーン工法とは

- ・剪定枝や落葉などの廃棄物を捨てずに、リサイクルします。
- ・環境保全と経済性を両立した、新しい緑化技術です。



花だんの肥料として



不要物を取り除いて



樹木の肥料として活用します



無料で堆肥を配布します

d ナチュラルガーデンの管理

ポールスマイザー氏監修のもと、県民体育館前（平成23年度）、ふれあい広場西側（平成26年度）がナチュラルガーデンとして整備されました。通常の造園管理ではなく、ナチュラルガーデンとしての目的に合った維持管理に取り組みます。



ナチュラルガーデンの未来予想図

ナチュラルガーデンとは

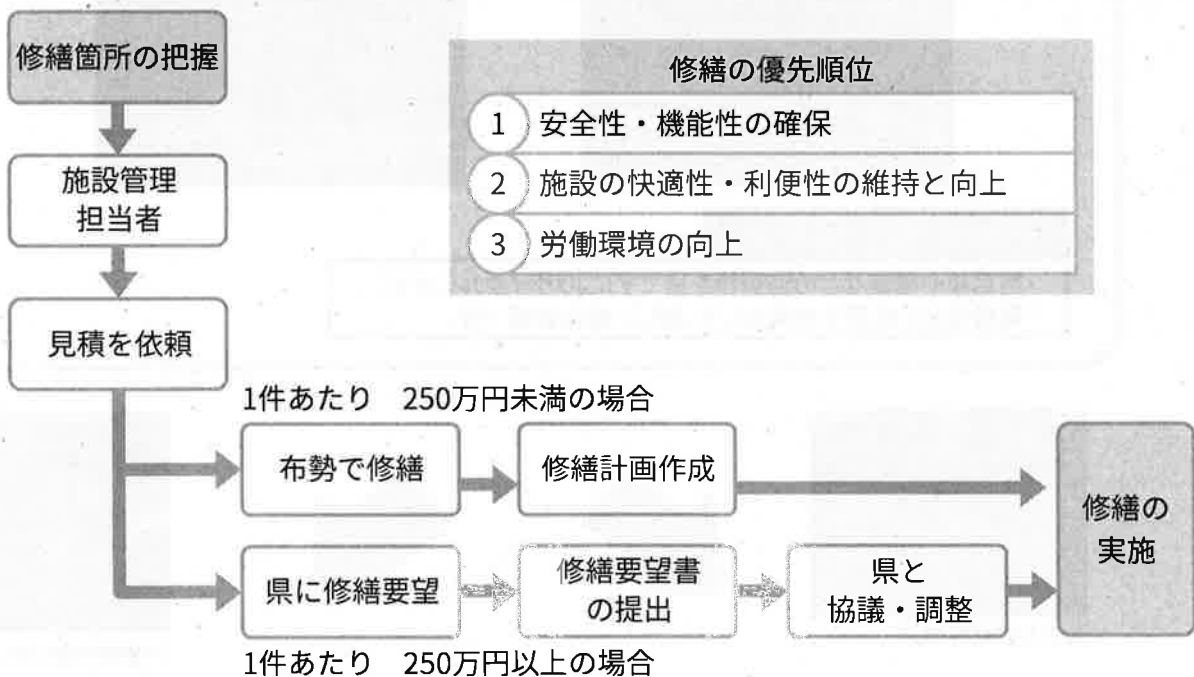
植物が本来持っている自然の力を活かすための、裏付けをもった庭づくりのこと。見た目やスタイルではなく、「庭づくりの方法」のことである。

(ク) 修繕業務

修繕業務については、安全・安心な施設を提供するため、日常点検および定期点検により修繕箇所を把握し、安全性・機能性・利便性などの観点から優先順位をつけ、計画的に修繕ができるよう取り組みます。

なお、県がおこなう修繕または改修の実施には日程調整をおこなうなど協力していきます。

修繕計画の実施フロー



a 職員の修繕によるコスト削減

職員の修繕によるコスト削減については、職員の専門性をいかした修繕をおこない、コスト削減に取り組みます。

● 取り組み例



日本庭園東屋屋根の修繕



トイレ内装タイルの修繕



テニスコート夜間照明安定期の修繕



野球場掲揚ポールのロープ取り替え



体育館下足箱の塗装



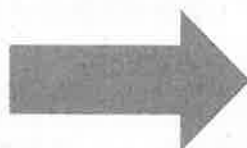
陸上競技場ロビー排煙口の修繕

b サービスの向上をはかるための修繕・改修

サービスの向上をはかるための修繕・改修については、利用者の要望や利便性の向上につながるかと判断した場合において、積極的に修繕・改修をおこない利用者の便宜がはかれるよう取り組みます。



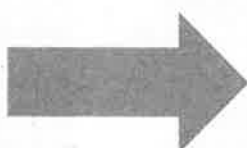
野球場屋内ブルベン 修繕前



修繕後(平成 30 年度)



陸上競技場トレーニングルーム



懸垂用鉄棒の設置(平成 29 年度)

● 現指定管理期間の修繕実績

年度	修繕内容	金額
平成26年度	遊具修繕 5件	2,826,576円
	陸上競技場タータン張替	1,198,800円
	トレーニング機器関連 18件	649,576円
	その他 71件	7,663,461円
	平成26年度(95件)計	12,338,413円
平成27年度	補助競技場改修工事	1,728,000円
	屋内ピッチング場天井照明器具修繕工事	1,512,000円
	陸上機器(写真判定装置、デジタル風速計他) 5件	1,430,449円
	その他 94件	10,771,874円
	平成27年度(101件)計	15,442,323円
平成28年度	県民体育館メインアリーナデジタル時計修理	939,600円
	遊具修繕 2件	699,840円
	三次処理槽PH変換器取替修理 2件	675,000円
	その他 68件	5,460,556円
	平成28年度(73件)計	7,774,996円
平成29年度	陸上競技場補修(幅跳び助走路) 2件	1,620,000円
	体育館トレーニングルームサッシシーリング打ち替え修理 2件	1,240,920円
	床下基礎補強工事(メインアリーナ・サブアリーナ)	643,680円
	その他 74件	8,127,231円
	平成29年度(79件)計	11,631,831円
平成30年度	野球場屋内ブルベン整備(1・3塁) 2件	1,620,000円
	遊具修繕 2件	1,158,786円
	野球場ベンチ塗装工事	999,000円
	その他 12件	2,945,721円
	平成30年度(6月末現在17件)計	6,723,507円

c 県への修繕要望

指定管理者の負担の範囲を超える場合(250万円以上)は、計画的に県へ修繕要望書を提出し、適切なタイミングで施設・設備の更新および修繕ができるよう取り組みます。

○次期指定管理期間における主な修繕計画

実施年	主な修繕内容
2019年	雨天練習場 天井修繕 県民体育館 エアコン室外機修繕(1年目) おもしろ広場 遊具施設修繕(1年目) 陸上競技場 大型映像装置更新 野球場 スコアボードシステム更新
2020年	陸上競技場 外壁修繕 県民体育館 照明制御盤更新 第1駐車場 白戦引き直し及び拡張工事 県民体育館 エアコン室外機修繕(2年目) おもしろ広場 遊具施設修繕(2年目)
2021年	テニスコート 研修室および壁面亀裂修繕 野球場 各扉修繕 県民体育館 冷却塔修繕
2023年	園内 園路凸凹の修繕
	園内 看板の更新 トイレ 洋式化工事

(4) 外部委託の発注予定

ア 外部委託の考え方

外部委託については、法定検査機関による業務、高度の専門性を要する業務、コスト的・技術的に効果的である業務について外部委託とします。

また、障がい者および高齢者の就労機会を確保するため、障がい者就労施設、または、シルバー人材センターに一部の業務を委託できるよう取り組みます。



浄化槽保守点検業務

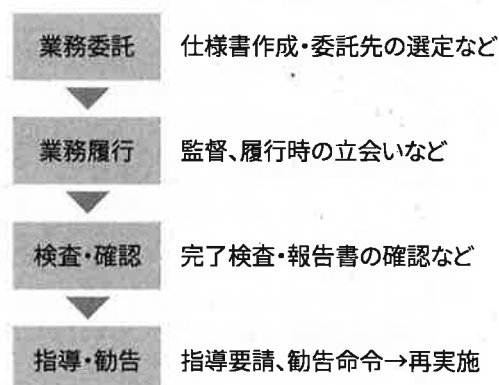
(ア) 業者の選定方法

業者の選定方法については、鳥取県競走入札参加資格を有する県内業者への発注につとめ、複数年（5年間）の指名競争入札を原則とし、委託費の縮減に取り組みます。

委託業者との契約において違反行為、社会的に不正な行為をおこなった業者に対しては、指名停止措置などをおこない適正な契約環境を確保します。

(イ) 委託業務の監視体制

委託業務の監視体制については、各業務に調査職員を選定し、仕様書のとおりおこなわれているかどうか検査・確認するとともに、必要に応じて指導・勧告をおこない、厳正に委託業務が履行できるよう取り組みます。



(ウ) 委託業者との連携

委託業者との連携については、定期的に連絡調整会を開き、利用者からの意見・要望の伝達や利用予定の確認をおこなうなどの情報を共有し、円滑な管理運営に取り組みます。

イ 外部委託の業務内容

外部委託については、31の業務を委託したいと計画しています。

業務事項	内容	期間	概算金額 (千円)	発注先	選定 方法	県外事業者に 発注する理由
陸上・野球場・県民体育館・テニスコर्ट 施設警備	各施設の機械警備	H31.4.1 ～ H36.3.31	1,860	県内	指名 競争	
浄化槽保守点検	浄化槽、三次処理槽の 点検、清掃、水質検査	H31.4.1 ～ H36.3.31	4,422	県内	指名 競争	
自動制御設備保守点 検	県民体育館中央監視 盤の電氣的試験など	H31.4.1 ～ H36.3.31	4,840	県内	指名 競争	
清掃業務	園内および施設内の 清掃	H31.4.1 ～ H36.3.31	47,040	県内	指名 競争	
自動扉保守点検	自動扉の動作確認、内 部清掃	H31.4.1 ～ H36.3.31	1,936	県内	指名 競争	
大型映像、野球場スコ アボードシステム保守 点検	映像装置の電氣的試 験など	H31.4.1 ～ H36.3.31	39,405	県外	随意	設置業者の富士 通フロンテックし か点検できない
多目的掲示システム 装置保守点検	映像装置の電氣的試 験など	H31.4.1 ～ H36.3.31	3,713	県内	随意	
構内電話設備保守点 検	構内電話の電氣的試 験など	H31.4.1 ～ H36.3.31	528	県内	随意	
消防設備保守点検	消防設備、非常放送な どの点検	H31.4.1 ～ H36.3.31	10,780	県内	指名 競争	
空調設備保守点検	冷温水発生機、冷却塔、 PAなどの空調設備点 検	H31.4.1 ～ H36.3.31	15,950	県内	指名 競争	
県民体育館エレベ ーター保守点検	かごの動作確認、注油 など	H31.4.1 ～ H36.3.31	3,720	県内	指名 競争	
陸上競技場エレベ ーター保守点検	かごの動作確認、注油 など	H31.4.1 ～ H36.3.31	5,742	県内	指名 競争	
音響設備保守点検	各施設音響設備の機 能確認など	H31.4.1 ～ H36.3.31	4,400	県外	随意	設置業者のパナ ソニックシステ ムネットワーク スしか点検でき ない
清掃用チェアゴンドラ 及び舞台吊物装置保 守点検	チェアゴンドラの法定 点検、吊物装置の動作 確認	H31.4.1 ～ H36.3.31	1,925	県外	指名 競争	メンテナンスが できる特殊な技 術を有する業者 が県内にない
陸上競技用機器保守 点検	陸上機器の動作確認、 電氣的試験など	H31.4.1 ～ H36.3.31	27,965	県外	随意	ニシ・スポーツ 製のため、機器 の特性上、同業 者しか点検でき ない
ばい煙測定業務	吸収式冷温水発生機 のばい煙測定	H31.4.1 ～ H36.3.31	385	県内	指名 競争	
電気設備法定点検	電気事業法に係る法 定点検	H31.4.1 ～ H36.3.31	6,700	県内	随意	

業務事項	内容	期間	概算金額 (千円)	発注先	選定 方法	県外事業者が発注する理由
テニスコートメンテナンス業務	人工芝の砂入れ、整備など	H31.4.1 ～ H36.3.31	1,595	県外	指名競争	人工芝のメンテナンスをできる業者が県内にない
自走搭乗式路面清掃機保守点検	スーパードのオーバーホール	H31.4.1 ～ H36.3.31	143	県内	随意	
芝グラウンド維持管理業務	天然芝グラウンドの維持管理	H31.4.1 ～ H36.3.31	353,000	県内	公募	
造園保守業務	園内の植栽および芝の維持管理	H31.4.1 ～ H36.3.31	264,480	県内	公募	
遊具保守点検	遊具の目視、触診、打診、聴診など	H31.4.1 ～ H36.3.31	2,750	県外	指名競争	日本公園施設業協会会員で、公園施設製品安全管理士および公園施設整備士の資格を有する業者
県民体育館移動観覧席保守点検	観覧席の動作確認、注油など	H31.4.1 ～ H36.3.31	1,755	県内	指名競争	
県民体育館照明制御システム保守点検	照明制御の電氣的試験など	H31.4.1 ～ H36.3.31	2,739	県外	随意	東芝製で独自ソフトで制御しているため、他の業者は点検できない
クライミングウォール保守点検	ウォールの点検、ルートの変更など	H31.4.1 ～ H36.3.31	1,870	県外	随意	ウォールの設置業者で特殊な技術がないとメンテナンスができない
冬期除雪作業	特殊機械による園内、駐車場の除雪作業	単年度契約	2,282	県内	指名競争	
自動販売機設置および飲料水販売業務	自動販売機の設置、商品の補充など	H31.4.1 ～ H36.3.31	—	県内	随意	
※バスケットゴール保守点検	ゴールおよび附属設備の動作確認など	H31.4.1 ～ H36.3.31	2,695	県内	随意	
※夜間警備業務	開園時間外の園内警備業務	単年度契約	10,356	県内	指名競争	
※野球場グラウンド整備業務	クレー舗装の整備	H31.4.1 ～ H36.3.31	4,070	県外	随意	布勢野球場の改修工事でクレー部分を施工した実績のある業者
※散水用スプリンクラー保守点検	スプリンクラーの動作確認	H31.4.1 ～ H36.3.31	500	県内	随意	

※は、仕様書を上回る項目

ウ 障がい者就労施設及びシルバー人材センター等への委託の発注予定

新規

園内の美観整備に係る部分について、障がい者就労施設などに発注予定としています。

種別	内容	期間	概算金額 (千円)	発注先	選定 方法	県外事業者が発注する理由
障がい者就労施設	園内清掃業務	H31.4.1 ～ H36.3.31	500	県内	随意	
シルバー人材センター	花壇などの植え替え	H31.4.1 ～ H36.3.31	500	県内	随意	

4 スポーツ・レクリエーション振興

布勢公園は、県民のスポーツ・レクリエーション活動の振興をはかる中核施設であることを十分理解して、公園内の多様な施設や自然環境を活用して、県民の心身の健康の維持・増進がはかれるよう取り組みます。

(1) スポーツ・レクリエーション振興の実施の考え方及び実施内容

ア 施設設備の利用方法の指導業務

利用者に利用してもらうにあたり、以下の考え方によって、利用指導業務をおこないます。

考え方	利用者が適正に使用できること
	利用者に事故やケガを起こさせないようにすること
	誰もが分かりやすく利用できるようにすること

(ア) 施設・用具についての利用方法の指導

施設・用具の利用方法の指導については、職員による直接の指導、マニュアルやイラストを用いて利用してもらえよう取り組みます。

項目	取組内容
事前の打ち合わせ	大会前には主催者へ施設や用具の使用について十分な説明をおこない、適切に使用できるよう事前に打ち合わせをおこないます。
マニュアルの作成	初めての利用される方でも、器具や施設の利用方法が分かるよう、マニュアルを作成します。 新規
看板などの掲示	禁止事項の周知や器具の片付けが適切にできるよう、分かりやすいイラストや写真による看板・張り紙の掲示につとめます。

(イ) 遊具についての利用方法の指導

遊具の利用方法の指導については、子どもは遊具を本来の目的とは異なる方法で利用することがあることを認識し、ケガや事故が起こらないよう取り組みます。

項目	取組内容
巡回による指導	○比較的リスクの高い遊具施設は、重点的に見回りをおこない、危険な使い方を見つけたら、その場で指導します。
看板の設置	○幼児や児童を対象とした看板を設置し、分かりやすいイラストなどによる注意喚起につとめます。 ○事故が発生した場合に備え、利用者が指定管理者への迅速かつ的確な連絡がとれるよう、緊急連絡手段を確立します。
冒険心や挑戦心の尊重	○完全にリスクを除去することは、子どもの事故の回避能力を育む成長過程を阻害することを理解したうえで適切な指導をおこないます。

(ウ) トレーニングルームの利用方法の指導

トレーニングルームの利用方法の指導については、多様な目的を持った利用者が増えているため、指導員の配置、また外部との連携をおこない、健康の維持・増進やシェイプアップなどの利用指導業務に取り組みます。

項目	取組内容
常駐指導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な経験と知識を有する常駐指導員を配置します。 ○器具などの使用説明、目的に応じたトレーニングメニューを作成します。 ○女性の利用者に対応するため、積極的に女性職員を配置します。
サブトレーナー制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> ○トレーニングに関する知識を持ったボランティアを募り、職員とともに指導にあたります。 ○利用者の視点で携さわることで、職員の見落とし部分を補完でき、指導の充実をはかります。
体力診断システムの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○初めての利用者に診断システムを活用してもらい、その結果をもとにトレーニングメニューの作成をおこないます。 ○トレーニングの成果を測る手段とし、客観的なデータによるトレーニングの達成度を把握し、メニュー作りに役立て指導をおこないます。

イ 競技スポーツ振興業務

競技スポーツ振興業務については、鳥取県の競技スポーツの中核施設として、県民の競技力向上がはかれるよう取り組みます。

考え方	<p>全県および全国規模などの大会の円滑な開催がはかれるよう、施設の利用調整につとめます。</p>
	<p>競技団体と連携した講習会や強化練習会を実施し、競技力の向上および競技者の育成をはかります。</p>
	<p>障がい者スポーツの利用促進につとめ、事故やケガの起こらない管理運営をおこないます。</p>

(ア) 各競技大会が円滑に開催できる運営への支援

a 大規模調整会・年間利用調整会の実施

大規模調整会・年間利用調整会の実施については、可能な限り利用者の要望に応えられるように全国規模の大会から県の大会まで調整できるよう取り組みます。(27～29 ページ参照)

b 大会運営への支援

大会運営への支援については、競技に係る専門の先生がいない小・中学校体育連盟主催の大会など、職員自ら大会運営に携わり、器具や機器の設置からグラウンド整備や機器の操作など、円滑に開催できるよう支援活動に取り組めます。



全体に指示を与える職員

(イ) 全国大会やプロスポーツ大会の招致

全国大会やプロスポーツ大会の招致については、競技団体と連携して県民にトップレベルの技術や実際のプレーを見せるために大会招致に取り組めます。

○近年の主な大会実績

施設	種目	実績
陸上競技場	陸上競技	ジャマイカチーム事前キャンプ
	ラグビー	ジャパンラグビートップリーグ2016-2017
県民体育館	卓球	卓球ホープス男子ナショナルチーム強化合宿
	相撲	秋巡業大相撲鳥取場所
球技場	ホッケー	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
多目的広場	サッカー	全国中学校総合体育大会(全中)



大相撲巡業

(ウ) 元オリンピック選手やプロ選手による教室事業

元オリンピック選手やプロ選手による教室事業については、子ども達のスポーツ活動への興味・関心や競技力向上の目的のために、一流の選手から直接指導を受ける機会の提供に取り組めます。

(エ) 県内アスリートの雇用

県内アスリートの雇用については、本県の競技力向上のために世界大会や全国大会に出場した県内出身選手の受け皿として、本会がその雇用に積極的に取り組みます。

○雇用した職員の主な成績

種目	成績
相撲(女子)	第22回全日本女子相撲選手権大会 無差別級 優勝
クライミング	第17回JOCジュニアオリンピックカップ大会 男子リード第2位
バドミントン	第55回全日本教職員バドミントン選手権大会 団体の部 優勝
ボディビル	2015年AFBFアジアクラシックボディビル選手権 優勝
陸上競技(ハンマー投)	第65回全日本実業団対抗陸上選手権大会 第2位 他2名

(オ) 国民体育大会などへの監督・コーチの派遣

国民体育大会などへの監督・コーチの派遣については、本県の競技力向上のために全国大会で優秀な成績を残した職員を国民体育大会、都道府県全国駅伝大会などの監督・コーチとして派遣することに協力します。

派遣実績

国民体育大会(相撲の部)	監督
国民体育大会(陸上競技の部)	コーチ
全国都道府県対抗男子駅伝	監督
全国高等学校総合体育大会(相撲の部)	大会役員
全国小学生陸上競技交流大会	コーチ
スケート競技大会	大会役員
全日本卓球選手権大会(ホープスの部)	コーチ
天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会	コーチ

(カ) 陸上競技教室(ブランド化事業)

新規

陸上競技教室(ブランド化事業)については、長期的な視野にたつて全国大会で活躍できる子ども達を育成するために、記録の出やすい高速トラックを活用して、子どもの発育・発達段階に応じたプログラムに基づき将来を見据えた陸上選手の育成に取り組みます。

○全国大会での主な成績

大会名	種目	成績
全国小学生陸上競技交流大会	女子80mハードル	優勝
	男子4×100mリレー	準優勝
	女子80mハードル	4位
	男子100m	6位
	男子100m	8位



全国クロスカントリー大会へ出場



日本陸連より優秀指導者として表彰

(キ) オリンピックオークの植樹(ブランド化事業)

新規

布勢公園の陸上競技場は、全国でも有名な高速トラックと認識され、近年では6種目の日本記録が樹立されました。トップアスリートが集う布勢スプリントにおいても、日本記録が出る可能性が十分に考えられます。今後、日本記録が樹立されかつ本会が特に認めるものについては、オリンピックオークの記念植樹をおこなうことによって広く周知するとともに、後世まで形として残すことは、ブランド化に寄与するものと考えます。

オリンピック
オークとは

1936年、ベルリンオリンピックで優勝した、田島直人選手にメダルとともに贈られた副賞が「柏の苗木」。この木が後々、大記録が達成されると植樹されるようになり、オリンピックオークと呼ばれるようになった所以である。

ウ 身近なスポーツ・レクリエーション振興業務

身近なスポーツ・レクリエーション振興業務については、65%に向けての運動実施率の向上、生きがいや仲間づくりなどの考え方のもとに取り組みます。

考え方	県民の誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境の場を提供します。
	ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進をはかります。
	各種団体、機関などと連携し県民のスポーツ・レクリエーション活動の普及・促進をはかります。

(ア) スポーツ教室・イベントの実施

スポーツ教室・イベントの実施については、鳥取県スポーツ振興計画に基づき、園児から高齢者まで誰もが気軽に参加できる環境づくりに取り組みます。(81~87ページ参照)

(イ) 高齢者のスポーツ活動の促進

高齢者のスポーツ活動の促進については、活躍する機会や交流の場を提供するためにニュースポーツ教室や卓球大会を定期的で開催し、高齢者のスポーツへの参加促進に取り組みます。

(ウ) グラウンド・ゴルフ大会の充実

グラウンド・ゴルフ大会の充実については、県のグラウンド・ゴルフ聖地化推進事業に基づいて、定期的に開催できるよう取り組みます。

また、近接の「白兔グラウンド・ゴルフ場」や「潮風の丘とまり」などと連携し、県外の利用者を対象とした大会を開催し、鳥取県のPRや地域の活性化に取り組みます。



暑さを避けて、ナイターでの大会実施

(エ) 地域へのスポーツ指導者派遣

地域へのスポーツ指導者の派遣については、地域スポーツの発展のために専門的知識を有する職員を学校や地域の活動に派遣し、ストレッチの指導や講習会・研修会に取り組みます。

派遣実績

公認指導員養成専門科目講習会
東部地区高齢者健康運動会
スポーツファーマシスト研修会
健康づくり運動教室
湯梨浜町体育協会表彰式記念講演
東部地区現業職員協会研修会
衛生管理者衛生担当者研修会
鳥取産業体育館 卓球教室 指導員
高草中学校親子会 ニュースポーツ指導
大正小学校 カローリング指導 他6件

(オ) 未来のアスリート発掘事業

新規

未来のアスリート発掘事業については、子ども達の育成、強化をはかるために、加盟団体と協力して小学生を対象に様々なスポーツが体験できる場を提供し、未来のアスリート育成に取り組みます。

**(カ) ジュニア世代を対象とした研修会・講習会の実施**

新規

ジュニア世代を対象とした研修会・講習会の実施については、子どもの健全な育成のために、成長段階に適した指導方法や保護者を対象にした栄養学などの研修会に取り組みます。

(キ) 総合型地域スポーツクラブへの支援

本会が発行するクラブインフォメーションにより総合型地域スポーツクラブの情報発信の支援に取り組みます。



エ 東京オリンピック・パラリンピック、世界大会開催に向けて

新規

東京オリンピック・パラリンピック、世界大会開催に向けての取り組みについては、県民のスポーツ振興をはかるため、これを契機として、県民のスポーツへの意識が一層高まるよう取り組みます。

(ア) ジャマイカ合宿への対応

本会は、2007年と2015年にジャマイカ選手団の合宿を受入れの経験が役員や選手から高評価を受け、2020年東京オリンピックにおいてもジャマイカ選手団の事前合宿が決定しており、県や競技団体と連携しこれまで以上の「おもてなし」ができるよう取り組みます。

(イ) 東京オリンピックで新たに採用された新種目の体験会

新種目の体験会については、東京オリンピックに向けての興味・関心、機運を盛り上げるために、スポーツライミング、空手道を県民の皆様にご体験していただく機会を設けます。東京オリンピックに向けての興味・関心、機運を盛り上げていきます。

(ウ) キャンプ地の誘致

本会は、県民スポーツ意識を盛り上げるため、県が勧めるキャンプ地の誘致が実現できるよう競技団体と連携し、施設・設備の充実に取り組みます。

今後予定されている世界大会

ラグビーワールドカップ2019

東京オリンピック・パラリンピック2020

ワールドマスターズゲームズ関西2021(アーチェリー)

(エ) JOCオリンピック支援自動販売機の導入

JOCオリンピック支援自動販売機の導入については、を夏季オリンピック実施競技団体のアスリート強化支援およびオリンピック・ムーブメントの推進のため、JOCオリンピック支援自動販売機の設置に取り組みます。



(オ) 東京オリ・パラを応援しましょう!

東京オリ・パラの応援活動については、県民の皆様にもオリンピックをより身近に感じてもらうために、地元オリンピック選手のユニフォームや用具をロビーなどに展示し、過去の大会や合宿の様子を映像で流せる環境を整え、オリンピック開催への気運を盛り上げていきます。



地元オリンピック選手の展示ブース

オ 体験学習プログラムの実施

体験学習プログラムの実施については、環境・緑化意識の成就や心身の健康づくりのために、公園内の多様な施設や豊かな自然環境を活用し、公園の魅力をいかしたプログラム作成に取り組みます。

NO	プログラム名	回数	定員
1	園芸プログラム	2回	40人
2	子育て支援プログラム	2回	60人
3	自然体験プログラム	2回	60人
4	福祉プログラム	2回	40人
年間合計		8回	200人

(ア)園芸プログラム

目的・効果	緑豊かな環境をいかして、植物に触れる、育てるといった体験をとおり、健康の維持・回復、ストレスの解消、心の癒しなどにいかします。
内容及び対象	対象：対象者なし 内容：寄せ植え教室
経費	■収入 参加料 300円×20人×2回=12,000円 ■支出 謝金 5,000円×2人=10,000円 ＊プログラムに係る材料費などは別途徴収
年間実施回数	2回程度
参加人数	1回：20人程度 年間：40人程度



完成した色鮮やかな作品

(イ)子育て支援プログラム 新規

目的・効果	「子育て王国とっとり」を標榜する鳥取県の政策を推進するため実施します。 親と子で一緒に活動し、スキンシップをはかり、親子の絆を深めます。 日々の子育てにおけるストレスの解消を目的に、リフレッシュ効果をもたらします。										
内容及び対象	対象：親子(園児・児童) 内容 ・親子で一緒に体操や運動をおこなう ・動物とのふれあい ・読み聞かせ										
経 費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">■収入</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">参加料</td> <td style="text-align: right;">500円×30人×2回=30,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">■支出</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">謝 金</td> <td style="text-align: right;">5,000円×1回=5,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">手数料</td> <td style="text-align: right;">25,000円×1式=25,000円</td> </tr> </table> <p>*プログラムに係る材料費などは別途徴収</p>	■収入		参加料	500円×30人×2回=30,000円	■支出		謝 金	5,000円×1回=5,000円	手数料	25,000円×1式=25,000円
■収入											
参加料	500円×30人×2回=30,000円										
■支出											
謝 金	5,000円×1回=5,000円										
手数料	25,000円×1式=25,000円										
年間実施回数	2回程度										
参加人数	1回：30人程度 年間：60人程度										

(ウ)自然体験プログラム

目的・効果	園内の豊かな自然の中を散策しながら、自然に親しむことを目的とします。 森林の中を散策し自然と親しむ楽しさを知り、昆虫や植物を採取することで自然についての認識を深めます。										
内容及び対象	対象：A親子(小学生以下)、B対象制限無し 内容 A：カブト虫観察ウォーク B：キノコ狩り										
経 費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">■収入</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">参加料</td> <td style="text-align: right;">500円×30人×2回=30,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">■支出</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">謝 金</td> <td style="text-align: right;">5,000円×1回=5,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">消耗品</td> <td style="text-align: right;">5,000円×1式=5,000円</td> </tr> </table> <p>*プログラムに係る材料費などは別途徴収</p>	■収入		参加料	500円×30人×2回=30,000円	■支出		謝 金	5,000円×1回=5,000円	消耗品	5,000円×1式=5,000円
■収入											
参加料	500円×30人×2回=30,000円										
■支出											
謝 金	5,000円×1回=5,000円										
消耗品	5,000円×1式=5,000円										
年間実施回数	2回程度										
参加人数	1回：30人程度 年間：60人程度										

(エ) 福祉プログラム

目的・効果	「運動」を通して生きがいのあるライフスタイル向上を目的とします。 障がい者や高齢者を対象に簡単な運動指導をおこない、健康の維持増進、 ストレスの解消、心の癒しなどの効果をもたらします。
内容及び対象	対象:障がい者、高齢者 内容 ・ストレッチや体操指導 ・トレーニング体験 ・ニュースポーツの体験
経費	<p>■収入 参加料 300円×20人×2回=12,000円</p> <p>■支出 謝金 5,000円×2人=10,000円</p> <p>* プログラムに係る材料費などは別途徴収</p>
年間実施回数	2回程度
参加人数	1回:20人程度 年間:40人程度



自然プログラム:キノコ狩り



福祉プログラム:ストレッチ指導

オ 障がい者スポーツの普及振興に係る事業の実施

障がい者スポーツの普及振興に係る事業の実施については、障がい者スポーツの普及や啓発、競技力向上をはかることを目的に、スポーツ教室の実施や指導者の派遣などの事業に取り組みます。

(ア) 研修の充実やマニュアルの作成

新規

研修の充実やマニュアルの作成については、障がい者が公平に施設を利用できることを目的に、職員や公園に係る委託業者を対象とした研修会の実施や障がい者対応マニュアルを作成し、様々な障がいがある方々の受入れ体制の充実に取り組みます。



あいサポート研修会

(イ) 障がい者スポーツ指導員の資格取得

障がい者スポーツ指導員の資格取得については、障がいのある方が安全で安心してスポーツに励むことができるよう、障がい者スポーツに係る基礎・基本的な知識を身に付け、適切に対応できるよう資格取得に取り組みます。

(ウ) 障がい者スポーツの普及振興

障がい者スポーツの普及振興については、障がい者が気軽にスポーツに励むことができるよう、スポーツ教室を実施するなど普及振興に取り組みます。

○主な普及振興活動

項目	活動内容
競技会への支援	鳥取県障がい者スポーツ大会など、競技役員として支援
運動指導	ノルディックウォーク、トレーニング機器などの指導を実施
体験活動	車いすバスケットやフライングディスクの体験イベントの実施
スポーツ教室の実施	トランポリン教室など楽しく取り組める教室を実施

(エ) 障がい者アスリートの雇用

新規

障がい者アスリートの雇用については、選手の練習環境を整え、強化育成し、一定の成績を残していくことで、「障がい者アスリートの育成モデル」となれるよう、選手を雇用し競技力向上に取り組みます。

(オ) 全国障がい者スポーツ大会や強化合宿への派遣

全国障がい者スポーツ大会や強化合宿への派遣については、障がい者スポーツの競技力の向上に寄与するため、様々な競技実績のある職員を監督やコーチとして派遣できるように取り組みます。

派遣実績

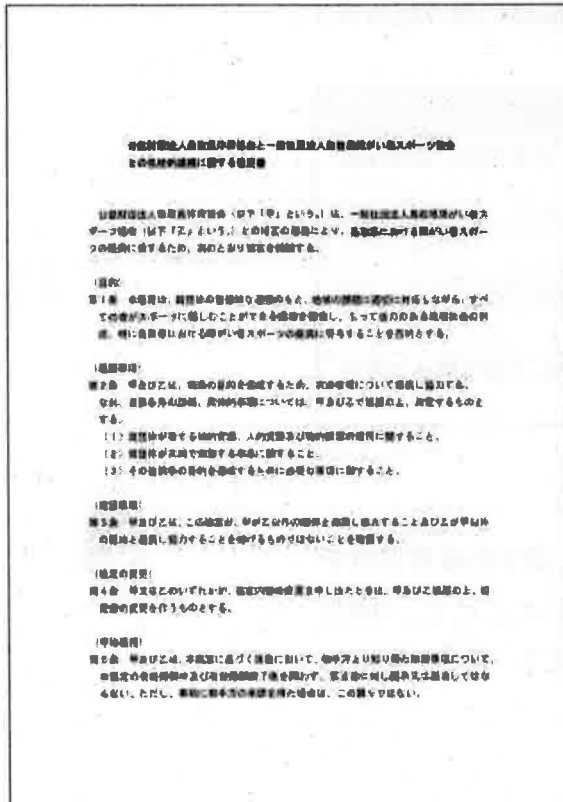
- 全国障がい者スポーツ大会
- 日本ID陸上選手権大会
- ジャパンパラリンピック陸上競技大会
- 鳥取県障がい者卓球大会
- 鳥取県強化指定選手練習会
- 特別支援学校運動部強化指定事業

(カ) 県や障がい者スポーツ協会との連携

県や障がい者スポーツ協会との連携については、競技大会や強化練習会が円滑に且つ安全に実施するため、ハード面の整備および運営面での支援ができるよう、連携して取り組みます。

●鳥取県障がい者スポーツ協会との包括提携

鳥取県障がい者スポーツ協会との包括提携については、すべての人がスポーツに親しむことができる環境を整備し、活力ある地域社会の形成を目的とし、鳥取県における障がい者スポーツ振興に貢献できるよう、鳥取県障がい者スポーツ協会と協力して取り組みます。



5 利用促進、サービス向上

本会は、「スポーツ」「レクリエーション」「余暇」「散策」「家族団らん」など多様なニーズを持つ利用者の皆様が、安全・安心にまた快適に満足した時間が過ごせるよう、これまで布勢公園を管理した経験と実績をいかして、利用者のサービス向上に取り組みます。

(1) 利用促進、サービス提供の内容

ア 自主事業：スポーツ教室の実施

スポーツ教室の実施については、元気で活力に満ちた社会の実現に向け、生涯にわたり豊かに生きるための健康や体力を培い、それぞれの年代や目的に応じた、スポーツ教室を実施します。

(ア) ジュニア世代を対象とした教室

目的	1	運動やスポーツに触れる機会の充実をはかる
	2	運動に親しむ資質と能力、体力の向上
	3	専門技術の向上

○教室一覧

教室名	定員	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
エンジョイキッズ	25	遊びの要素を取り入れ、楽しみながら運動に取り組みます	92	76	92
陸上Ⅰ	30	基本動作を繰り返し、技術の向上を目指します	78	100	100
陸上Ⅱ	30	「走・投・跳」の基本技術を楽しく身につけます	74	100	100
野球Ⅰ	20	「投・補・投・打」の基本的な技術の向上を目的とします	47	55	100
野球Ⅱ	20	初心者を対象に、基本的技術を身につけます	92	77	100
ダンス	25	ダンスを通してリズム感を養い自己表現力を身につけます	74	82	100
トランポリン	30	トランポリンを使って、バランス感覚、リズム感を養います	95	100	80
サッカーⅠ	20	基本的な技術の取得を目的とします	100	100	100
サッカーⅡ	20	遊びの要素を取り入れながら、サッカーに親しみます	-	-	100
バドミントン	20	ラケットの握り方など、基本的技術の習得を目的とします	100	75	100
長期休暇集中講座	20	集中的に取組み、効率的な運動技術の習得を目的とします	新規		
テニス	10	基本的な技術の習得を目的とします	新規		



野球教室(バッティング練習)

(イ) 働き盛り世代、子育て世代を対象とした教室

目的	1	運動率の向上（週1回以上：65%程度、週3回以上：30%程度）
	2	運動に親しむ資質と能力・体力の向上
	3	ワークライフバランスを重視した運動の取り組み

○教室一覧

教室名	定員	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
ピラティス	25	全身の筋肉を効率的に鍛え、健康な身体づくりを目指します	97	100	100
ヨガⅠ	35	呼吸をコントロールしながら、精神的リフレッシュをはかります	100	100	100
ヨガⅡ	35	インナーマッスルを鍛え、歪んだ身体のバランスを改善します	60	52	64
ヨガⅢ	35	心地よい音楽に合わせて、体を動かし、心身の癒しを目的とする	92	95	90
エアロビクスⅠ	25	有酸素運動を取り入れ、生活習慣病の予防・改善をおこないます	42	67	90
エアロビクスⅡ	35	音楽に合わせて楽しく踊り、生活習慣病の予防を目的とします	98	95	100
ジョギング	20	楽しく走れるようになり、日常に取り入れることを目的とします	70	92	97
バドミントン	20	基本技術を身に付けながら、ゲームを通して交流を深めます	67	57	50
フラダンス	20	ハワイ調の音楽に合わせて、楽しく健康的に踊ります	62	72	60
ママのボディメイク	20	適度な動きで、ママのリハビリやダイエットを目的とします	新規		
テニス	10	身に付けた基本技術を応用し、さらなる向上を目指します	新規		

(ウ) シニア世代を対象とした教室

目的	1	健康・体力の維持増進
	2	生きがいや仲間作り

○教室一覧

教室名	定員	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
卓球Ⅰ	20	卓球を楽しみながら、基本技術の習得を目指します	100	100	100
卓球Ⅱ	20	身に付けた基本技術を応用し、さらなる向上を目指します	100	100	100

教室名	定員	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
卓球Ⅲ	20	実践的な練習を中心に、大会への上位入賞を目指します	—	—	100
ニュースポーツ	20	楽しくスポーツに取り組みながら、仲間との交流を深めます	42	52	37
ノルディックウォーク	10	ポールを使用することで、効率的に体力の維持・増進をはかります	30	80	95
健康トレーニング	10	様々な運動を取り入れ、体力維持・増進をはかります	100	79	83
テニス	10	テニスを楽しみながら、基本技術の習得を目指します	新規		



ポールを使って歩く、ノルディックウォーク



仲間との交流を楽しむニュースポーツ教室



体力の増進を目的とした健康トレーニング教室

(エ) 幼児・園児を対象とした教室 新規

目的	1	
		幼児・園児期の運動の習慣化をはかる
目的	2	
		体を動かすことの楽しさを伝える

○教室一覧

教室名	定員	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
幼児・園児教室Ⅰ	20	遊びを取り入れながら体を動かす	新規		
幼児・園児教室Ⅱ	20	遊びを取り入れながら体を動かす	新規		

(エ) 障がい者を対象とした教室

目的	1	運動やスポーツに触れる機会の充実
	2	日常の目標や励み

○教室一覧

教室名	定員	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
障がい者スポーツ	10	遊びや要素を取り入れ、運動に親しむ資質を育てます	50	50	70
障がい者トランポリン	10	トランポリンを使い、運動の楽しさを感じてもらいます	35	40	35

イ 自主事業:各種イベントの実施

総合運動公園の機能を最大限にいかして、運動施設ではスポーツ大会や講習会を開催して鳥取県のスポーツ振興をはかります。また、行楽シーズンには家族連れを対象としたイベントや複合型集客イベントを企画し、公園の知名度の向上や利用者の増加をはかります。

(ア)いきいき健康長寿事業

事業内容	○ グラウンド・ゴルフ大会の実施 ○ ピンポン大会の実施
目的及び効果	○ 気軽に取り組めるスポーツ大会を行い、スポーツへの参加促進をはかる ○ 大会を通して、交流・親交をはかる ○ 日常生活の「生きがい」を作り、充実した日常生活を送る
収支計画	<p>グラウンド・ゴルフ大会の場合</p> <p>■収入見込 参加料 @1,000円×350人×10回 = 3,500,000円</p> <p>■支出見込 消耗品費 @210,000円×10回 = 2,100,000円 通信・運搬費 @10,000円×10回 = 100,000円 食糧費 @3,500円×10回 = 35,000円</p>

○イベント一覧

イベント名	参加数	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
園長杯争奪GG大会	350人	「個人戦」「団体戦」の部を設け、競い合う大会です	100	100	97
男女別個人GG大会	350人	男女の身体能力差を考慮して、別々に競い合う大会です	84	78	82
初花GG大会	350人	厳冬期に芝生の上でプレーできるのは、ここだけ!と自信をもって開催します	—	—	67
さよなら大会	350人	その年最後のGG大会。感謝の意を込めて、豚汁をふるまいます	81	77	63
フレッシュ・グラス大会	350人	芝生が最も映える時。新緑に癒されながらプレーを楽しんでいただきます	67	77	100
ピンポン大会	40人	「中・上級者」と「初心者」を分けておこうため、気軽に参加できる大会です	97	100	100



毎回300名以上が参加するグラウンド・ゴルフ大会

(イ) スポーツ活性化事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを対象としたサッカー大会など、競技大会の開催 ○ 運動神経の発達を目的としたコーディネーショントレーニングの実施 ○ スポーツや武道の体験会や講習会の実施
目的及び効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どものスポーツ機会の充実をはかる ○ 大会を通じてチーム間同士の振興を深める ○ 武道を通じて、日本の伝統・文化を学ぶ
収支計画	<p>サッカー大会の場合</p> <p>■収入見込</p> <p style="margin-left: 20px;">参加料 @3,000円×16チーム = 48,000円</p> <p>■支出見込</p> <p style="margin-left: 20px;">消耗品費 @20,000円×1式 = 20,000円</p>

○イベント一覧

イベント名	参加数	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
サッカー大会	18チーム	大会を通して交流を深め、技術的向上を目的とします	100	100	100
クライミング体験	10人	山岳協会の協力を得て、リード・ボルダリングの体験をおこないます	100	100	100
ナイター陸上	50人	誰でも気軽に参加できる陸上記録会です	100	81	100

イベント名	参加数	内容	参加率(%)		
			H27	H28	H29
布勢剣道錬成会	60人	剣道を通して、挨拶や礼儀作法を学びます	—	100	100
親子卓球大会	60組	親と子がダブルスを組んで、競い合う大会を開催します	90	90	70
コーディネーショントレーニング	40人	様々な動きを取り入れた運動をおこない、バランスよく運動機能を向上させます	100	100	100



剣道を通して日本の伝統に触れる

(ウ)地域活性化事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青年会議所や地元業者と連携しイベントの実施 ○ 各競技団体と連携し競技大会の実施 		
目的及び効果	地域活性化をはかるため <ul style="list-style-type: none"> ○ 県外からの来園者を対象としたイベント ○ 鳥取県産の食材を使った飲食物の販売 ○ 地域に根差した企業と連携しスポーツ大会などの実施 		
収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収入見込 無料 ■ 支出見込 消耗品費 @30,000円×1式= 30,000円 		

(エ)交流型イベント事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複合型イベントの実施 ○ 家族向けイベントの実施 																		
目的及び効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複合的なイベントを実施することで、新規利用者の取り込みをはかる ○ 行楽シーズンに訪れる家族連れに向けたイベントをおこない、利用者の満足度を高める 																		
収支計画	<p>緑の感謝際の場合</p> <p>■ 収入見込</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">チケット販売</td> <td style="padding-left: 20px;">@100円×2,500人 =</td> <td style="text-align: right;">250,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">出店料</td> <td style="padding-left: 20px;">@5,000円×5社 =</td> <td style="text-align: right;">25,000円</td> </tr> </table> <p>■ 支出見込</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">消耗品費</td> <td style="padding-left: 20px;">@100,000円×1式 =</td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">印刷製本費</td> <td style="padding-left: 20px;">@450,000円×1式 =</td> <td style="text-align: right;">450,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賃借料</td> <td style="padding-left: 20px;">@180,000円×1式 =</td> <td style="text-align: right;">180,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">手数料</td> <td style="padding-left: 20px;">@55,000円×1式 =</td> <td style="text-align: right;">55,000円</td> </tr> </table>	チケット販売	@100円×2,500人 =	250,000円	出店料	@5,000円×5社 =	25,000円	消耗品費	@100,000円×1式 =	100,000円	印刷製本費	@450,000円×1式 =	450,000円	賃借料	@180,000円×1式 =	180,000円	手数料	@55,000円×1式 =	55,000円
チケット販売	@100円×2,500人 =	250,000円																	
出店料	@5,000円×5社 =	25,000円																	
消耗品費	@100,000円×1式 =	100,000円																	
印刷製本費	@450,000円×1式 =	450,000円																	
賃借料	@180,000円×1式 =	180,000円																	
手数料	@55,000円×1式 =	55,000円																	



ウ 自主事業(スポーツ教室・イベント)における安全面への対応

(ア) 事前打合せ

事前打合せについては、安全に事業をおこなうため、講師と職員が運動の種類、運動強度や時間などの打合せをおこないます。



事前打合せ

(イ) 警報などの発令があった場合の対応

警報などの発令があった場合の対応については、利用者の安全を考慮して教室・イベントを延期および中止にします。

警報発令後の対応	ホームページや緊急連絡先に中止の連絡
	振替日の再設定

(ウ) 保険への加入

自主事業をおこなう際には、事故に備えて参加者全員がそれぞれの保険に加入します。

○スポーツ教室参加者の場合

保険の種類	保険対象範囲	保証額
スポーツ安全保険	教室活動中のケガ 経路往復中の事故	死亡..... 2,000 万円
		後遺症..... 3,000 万円
		入院..... 1 日 4,000 円
		通院..... 1 日 1,500 円

エ 競技大会や研修会など開催におけるサービス向上策

競技大会や研修会など開催におけるサービス向上策については、競技大会などを円滑に開催するため、年間を通して100回以上の県内大会、研修会やブロック大会(中国地区)、全国大会が実施されることから以下のように取り組みます。

(ア) 開園・閉園時間への対応

開園・閉園時間の対応については、通常は午前9時開園、午後10時閉園を原則としますが、主催者の意向にできるだけ沿うため、開園や閉園時間を柔軟に対応できるよう取り組みます。

○平成29年度実績 開園・開館を早めた各施設の件数

施設名	体育館	陸上競技場	野球場	テニス場
件数	103 件	49 件	63 件	69 件

(イ) 駐車場の確保

駐車場の確保については、大会時の利用者の駐車スペースを確保するため、安全面を留意したうえで園内に大会関係者の臨時駐車スペースを設けます。



園内へ駐車し、スペースを確保します

(ウ) その他の主な取組

取組	内容
式典	旗(国・県)、君が代、表彰盆の無料貸出
横断幕の作成	大会や研修会で使用する横断幕を作成(有料)
斡旋	宿泊施設やお弁当の斡旋



横断幕の作成および設置

オ スポーツ振興におけるサービス向上策

(ア) 空きスペースの活用

空きスペースの活用については、施設の活性化をはかるため、中央広場や体育館ロビーの空きスペースに卓球台やバスケットゴールなどを設置し、無料で気軽にスポーツに親しむ環境づくりに取り組みます。



仲間で楽しむバスケット

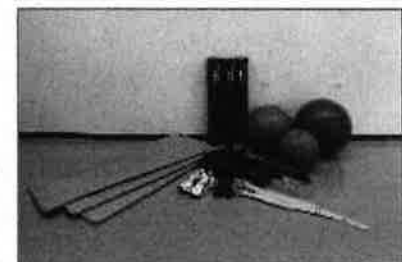


誰もが気軽に取り組める卓球

(イ) 無償レンタルグッズの充実

新規

要望があった無償レンタルグッズの充実については、利用者のトレーニングの手助けをするため、筋力トレーニング時に使用する腰ベルトや練習に必要なメジャーなど、レンタル用具の充実をはかります。



様々なレンタルグッズ

(ウ) ニュースポーツ用具の無償貸出

ニュースポーツ用具の無償貸出については、学校や地域のレクリエーション活動においてだれもがスポーツを楽しめるよう無償貸出にとりくみます。

ニュー スポーツ 用品	● ペタンク	● フライングディスク	● ファミリーバドミントン
	● グラウンド・ゴルフ	● ドッジビー	● カローリング
	● キンボール	● ターゲットバードゴルフ	● スポンジテニス
	● ビーンボーリング	● フロッカー	● ティーボール

カ ランナーのためのサービス向上策

ランナーのためのサービス向上策については、鳥取マラソンの開催以降増加傾向にあり、園内ランナーが安心して快適に走ることができるよう、測定・評価・処方などの要望に応じたサポート体制に取り組みます。

(ア) ランニングステーションとして活用 新規

ランニングステーションについては、利便性の向上をはかるためランナーの要望が高いロッカーの無料貸出やシャワーを使用できる環境づくりに取り組みます。

活用できる場所	陸上競技場
	補助競技場
	県民体育館



(イ) ランニングコースの整備

ランニングコースの整備については、夜間や積雪時などいつ来ても安全・安心に走れる状態を確保するため、ランニングコースの整備に取り組みます。



除雪作業



除雪後

整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の増設（県へ要望） ・園路の除雪 ・木の根による凸凹の整備
------	--

(ウ) ランニングクリニックの実施

ランニングクリニックの実施については、地元で開催される「鳥取マラソン」の機運醸成に向け、指導実績のある布勢公園職員が初心者から中級者までを対象にしたランニングクリニックを開催します。

(エ) 陸上競技場の照明の無料化 新規

陸上競技場の照明の無料化については、一般利用に限りランナーのサービス向上をはかるため、夜間の照明を無料で点灯するよう取り組みます。



夜間照明

キ 研修室の利活用

研修室の利活用については、利用者のサービス向上をはかるためホームページや広報活動を通じ、研修室の周知活動をおこない利用率の向上に取り組みます。

(ア) スポーツ教室の場としての活用

スポーツ教室の場としての活用については、高齢者や主婦層をターゲットに、健康の維持・増進を目的とした、参加しやすいヨガやピラティス、健康に関するスポーツ教室の充実をはかります。



フラダンス教室

(イ) スポーツ・運動の場としての活用

スポーツ・運動の場としての活用については、利用者の利便性をはかるため、少人数でおこなうヨガや空手、音楽を流しながらおこなうダンスなど、少スペースでできるスポーツの実施に取り組みます。

(ウ) 学習の場としての活用

新規

学習の場としての活用については、夏休み期間中や平日に児童・生徒が、学習や部活動の拠点として有効活用してもらうため、研修室の開放に取り組みます。

(エ) 文化(伝統芸能)継承としての活用

新規

文化(伝統芸能)継承としての活用については、「しゃんしゃん祭り」の伝統を親子会や子ども達に継承してもらうため、研修室の利用方法を作成したうえで練習の場として提供していきます。



しゃんしゃん踊りの練習風景

(オ) 展示場としての活用

新規

展示場としての活用については、スポーツの普及や鳥取県の歴史や文化、自然のすばらしさなどを全国に発信するため、また東京オリンピック・パラリンピックや障がい者スポーツなどの啓発をおこなうため、パネル展示会に取り組みます。



地元出身力士の展示会

ク 子育て世代へのサービス向上策

(ア) 子育て世代に向けた環境整備

子育て世代の環境整備については、赤ちゃんや幼児連れの親子がより利用しやすいように、ベビーカーの貸出やプレイルームや授乳室、子どもトイレの設置を充実できるよう取り組みます。



絵本の設置

(イ) 移動遊園地の誘致

行楽シーズンには多くの家族連れが訪れるため、地元業者と連携し家族向けの大型遊具（ふわふわ、列車など）の設置、移動販売車による飲食の販売をおこなうなど、利便性の向上に取り組みます。



スーパーボールすくい



大型遊具(よしつね号)



移動販売車による飲食物の販売

ケ 共通券の発行(布勢トレーニングルーム+産体プール)

本会が複数の体育施設を管理している特性をいかし、利便性の向上をはかるため、「布勢公園のトレーニングルーム」と「鳥取産業体育館屋内プール」が、両方使える1ヶ月共通券を安価な金額で提供します。

コ ロビースペースの有効活用

ロビースペースの有効活用については、利用者にとって有益な情報を提供するためにバスの時刻表や大会ポスターの掲示、郷土にまつわるスポーツ選手の展示などに取り組みます。

展示場所

陸上競技場

県民体育館

- バス・汽車の時刻表や料金表、連絡先を掲示します。
- 鳥取県に係る出身力士やオリンピック選手の展示を行います。
- 各医療機関の掲示（緊急対応）
- 公園にまつわる大会・イベント、各種大会の要項・ポスターの掲示
- 血圧計、体脂肪測計等を設置し、気軽に自分の健康度がチェックできる環境を整えます。



サ 風情ある公園の演出

風情ある公園の演出については、利用者が心待ちにしている桜の季節には、ボンボリの点灯や正月の門松を飾るなど、四季折々の公園を演出することに取り組みます。



ボンボリの点灯



職員が作製した門松

シ 無料開放日の設定

無料開放日の設定については、県意向の「とっとり県民の日」に加え、本会では「みどりの日」、「都市緑化月間」において無料開放日として設定します。

項目	期間
とっとり県民の日	9月12日及び9月第2土曜日とその翌日の2日間
みどりの日	9月3日から5月5日の3日間
都市緑化月間	10月第3週の月曜日から金曜日の5日間



のぼりの設置

ス 物品などの販売 新規

利用者からニーズの高いものを導入し、利用者へ販売することでサービスの向上につとめます。

項目		金額	項目		金額	
コピー	A4(1枚)	白黒	10	スポーツタオル	1枚	500
	B4	カラー	50	ゼッケン	1セット(2枚)	100
		A3(1枚)	白黒	20	氷	1式
		カラー	80	テーピング	2.5cmサイズ	350
FAX	県内	1枚につき	10		3.8cmサイズ	500
				県外	20	5.0cmサイズ
拡大印刷機	一般紙	A1	100	キネシオテープ	7.5cmサイズ	1500
		1mにつき		コピー用紙	1冊	400
	合成紙	A1	350	養生テープ	1個	100
		1mにつき	500	色紙	1枚につき	100

※金額の変動あり

セ Wi-Fi 環境の整備

鳥取県は外国人および日本人観光客に利用できる無料公衆無線 LAN のアクセスポイントを整備しており、布勢公園でもとっとり BB（無料公衆無線 LAN）を県民体育館・陸上競技場に導入しています。

布勢公園では、今後も外国人観光客の受け入れや利用者の利便性の向上のため、Wi-Fi 環境の整備を推進していきます。

ソ 宣伝広報業務

宣伝広報については、公園の各種施設・イベントや自然環境の紹介などにつとめ、公園利用の促進をはかる様々なお知らせができるよう、目的に合った手段を用いて効果的な広報活動に取り組みます。

広報手段	広報内容	備考	
パンフレット作成	スポーツ教室 イベント	スポーツ教室 (14,000部作製) イベント (2,500部作製)	有料
	公園・施設	多言語対応 (韓国・英語)	
チラシ作成	複合型イベント	チラシ (70,000部作製)	
ホームページ	Facebookの活用 公園・施設 行事予定など	H30年度リニューアル	無料
広報誌 (市報など) 地元新聞	スポーツ教室 イベント 公園・施設など	毎月1回掲載 (広報誌) 花見情報、大会結果	
テレビ・ラジオ	公園・施設 イベントなど	バラ園など	
ロビー・園内掲示	スポーツ教室 イベントなど	ロビー：2カ所 園内掲示：8カ所	



パンフレットの作成 (スポーツ教室)



ロビーを活用して、イベントのお知らせ

第12回緑の感謝祭

11月3日 (金・祝) 10:00 ~ 15:30
 中央広場周辺
 (布勢総合運動公園) 中央広場周辺
 ベンギンの園内お散歩、フリーマーケット、花の苗の無料配布 (限定有)
 飲食露店ブース、ストレッチエック、警察車両や自衛隊車両の展示、緑日ボニー乗馬体験、ロードトレインなど
 鳥取県立布勢総合運動公園
 ☎ 0857-31-6911

広報誌 (市報) による情報提供